

# 岡田遺跡の出土遺物について

資料3-1

総数	884 (整理コンテナ)	
内訳		
縄文土器	687	78%
弥生土器	9	1%
石器	186	21%
他	2	1%以下

## 旧石器時代 石器 尖頭器・ナイフ形石器

縄文時代	時期	十三菩提式	中期
		五領ヶ台式	中期
		清水台式	中期
		勝坂式	中期
		阿玉台式	中期
		加曾利E式	中期
		曾利式	中期
		堀之内式	後期
	*数量は4~7次のもの(釣手土器をのぞく)		
	器種	深鉢型土器	大多数
		浅鉢型土器	大多数
		有孔鍔付土器	少数
		釣手土器	3
	土製品	土偶	5
		ミニチュア土器	2
土製円盤		多数	
土器片鏝		多数	
石器	尖頭器	5	
	石鏟	137	
	クサビ形石器	394	
	石匙	56	
	磨製石斧	313	
	打製石斧	4776	
	石鏝	3446	
	磨石	788	
	敲石	323	
	凹石	135	
	石皿	116	
	台石	4	
	礫器	20	
	黒曜石	3893	
他	75		
自然遺物	貝類		
	魚類		
	鳥・ほ乳類		

## 弥生時代 後期土器等

# 岡田遺跡の縄文土器

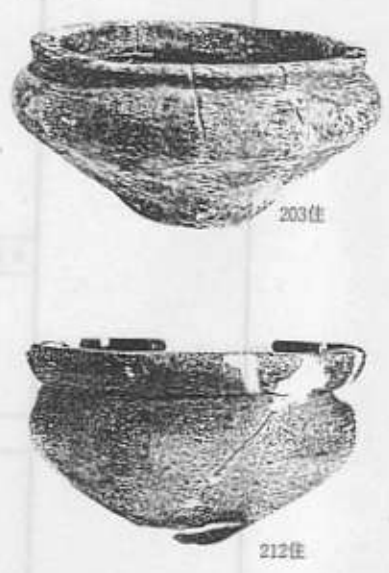
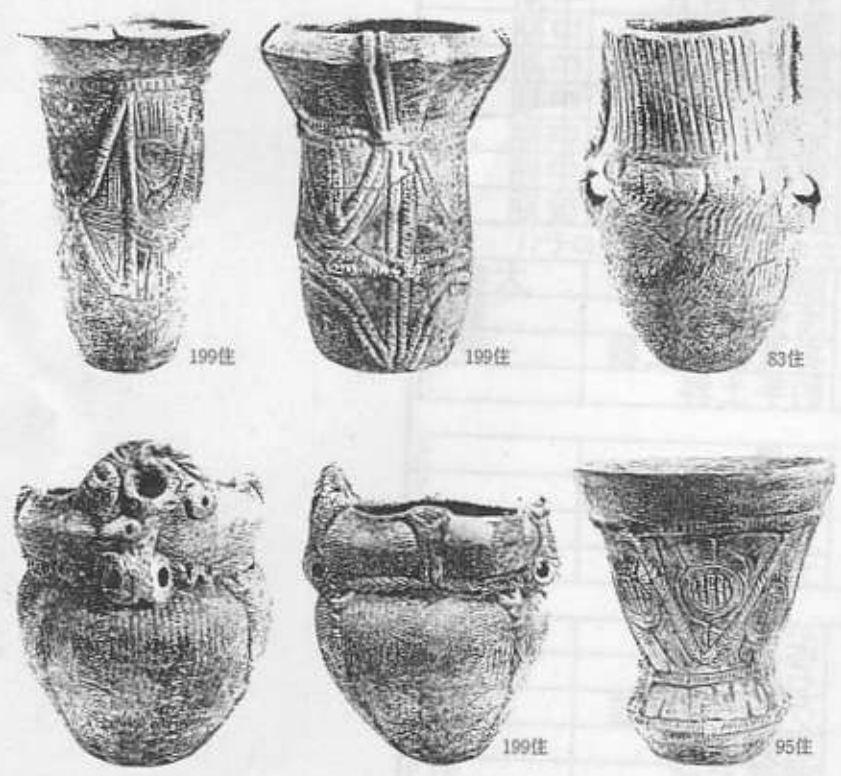
土器の出土量は、大形のコンテナで約800箱と膨大な量であった。大多数は破片であるが、写真のような完形品も少なくない。主体となるのは、集落の営まれた時期のもので、中期の勝板式土器、加曾利E式土器、曾利式土器である。器形は、大多数が深鉢形であるが、浅鉢形や有孔罎付形などもみられる。

深鉢形の縄文土器(20-1)

浅鉢形・有孔罎付縄文土器(20-2)

(勝板式)

(浅鉢形)



(有孔罎付土器)



(加曾利E式)



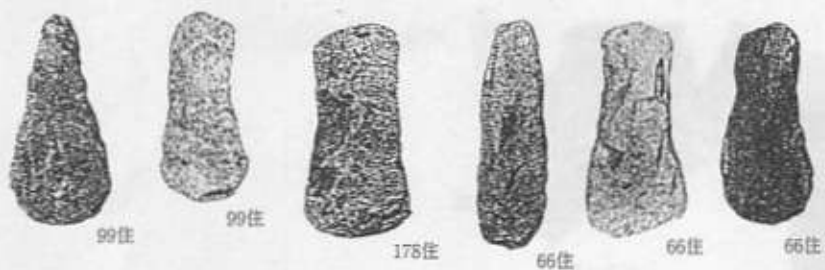
(曾利式)



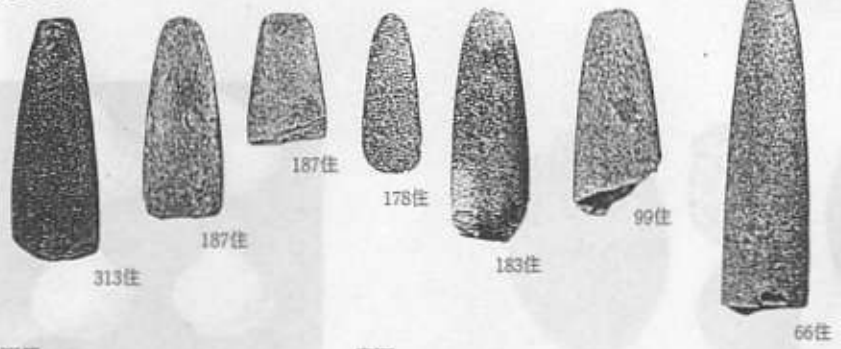
# 岡田遺跡の石器・土製品

石器も総数19,118点と大量に出土している。最も多かったのが土掘り具である打製石斧の4,776点であり、次が漁労用の錘である石錘の3,446点であった。その他、木工具である磨製石斧、製粉具として使用される石皿と磨石、やじりである石鏃、ナイフのような使われ方をする石匙、槍先となる有舌尖頭器等がある。

打製石斧



磨製石斧



石皿



磨石



石錘



石鏃



小形磨製石斧



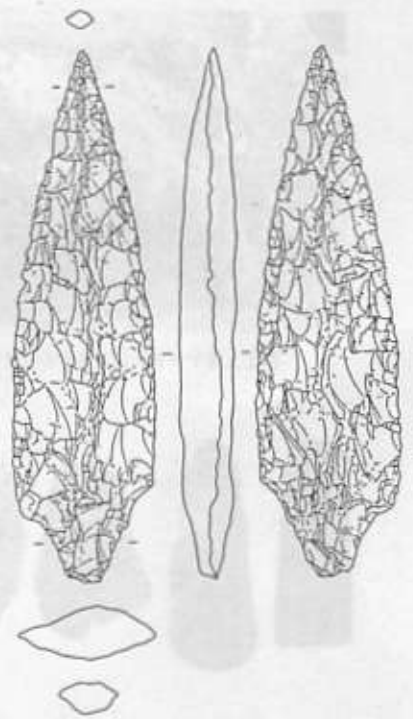
石匙



垂飾



岡田遺跡西側J区出土石器

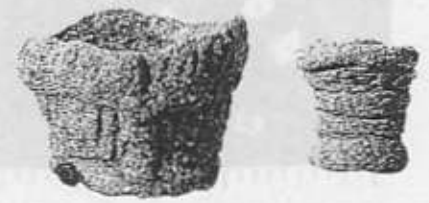


土製品(21-2)

呪術に使用された土偶やごく小形のミニチュア土器なども出土している。



包含層出土土器



包含層出土ミニチュア土器

(21-1)

# 岡田遺跡の自然遺物

品類土・器の類遺跡岡

竪穴住居址からは、貝類や魚類、鳥類、哺乳類などの骨も出土している。38号住居址の覆土からは土器、石器のほかブロック状の貝層が検出されている。ヤマトシジミが大多数であったが、ダンベイキサゴ、ハマグリ、シオフキなども含まれていた。魚類、鳥類、哺乳類などの骨は、多くが炉内から出土したものである。鳥類、哺乳類の骨は保存状態が悪く種の同定が不能であったが、魚類には海水域、汽水域、淡水域に生息するものが含まれ、相模湾、相模川河口部および相模川における多様な漁労活動を示すものとなっている。



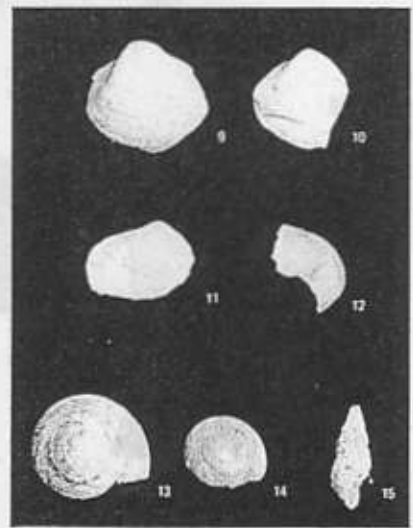
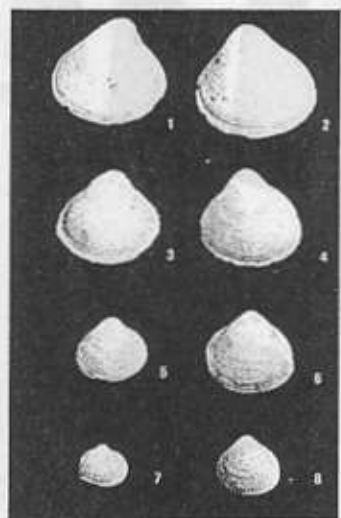
覆土上層ヤマトシジミを中心とする貝層



出土土器

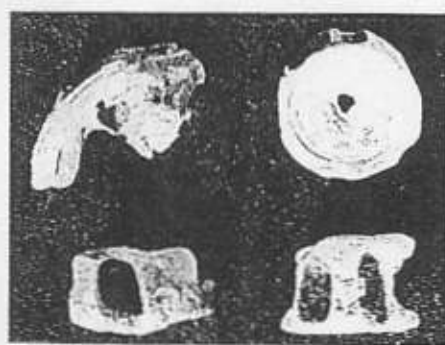


38号住居址の出土遺物(19-1)



1-8: ヤマトシジミ、9: シオフキ、10: ハマグリ、11: コナマガイ? 12: アサリ?、13-14: ダンベイキサゴ、15: カワニナ

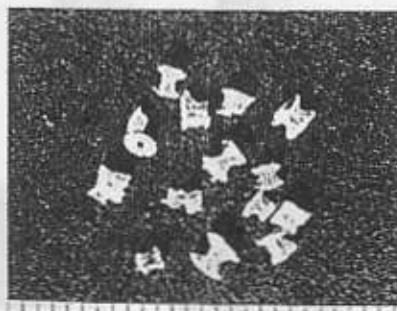
岡田遺跡出土の貝類(19-3)



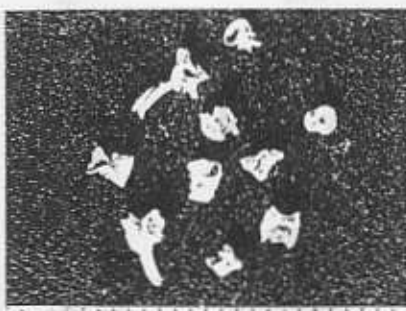
サメ類椎骨(204号住炉)



カフオ椎骨(309号住炉)



ニシン科椎骨(107号住炉)



コイ科椎骨(107号住炉)

岡田遺跡出土の魚類の骨(9-2)